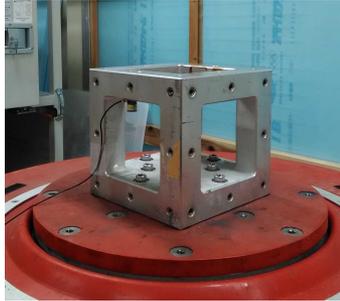

複合環境試験装置試験品取付例



秋田県産業技術センター
電子光応用開発部
情報・電子グループ



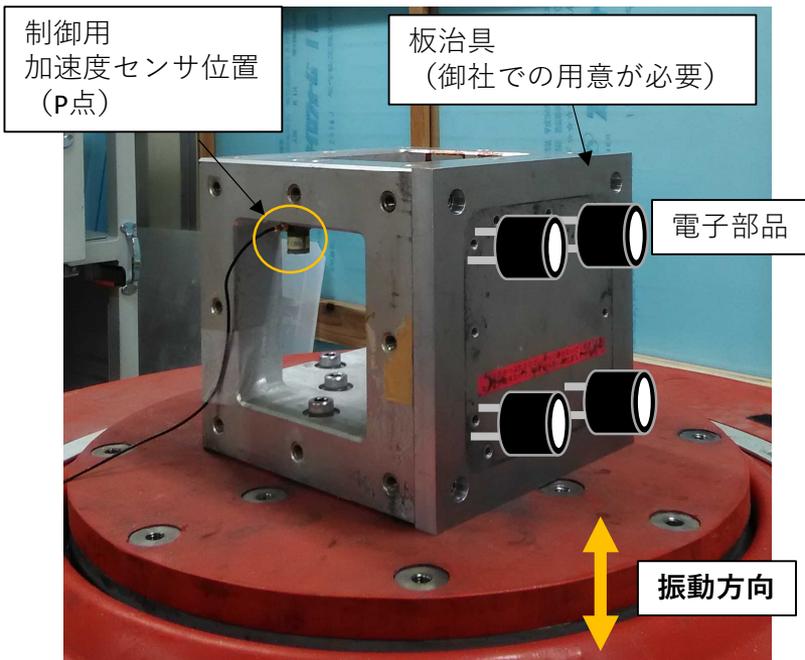
立方体治具



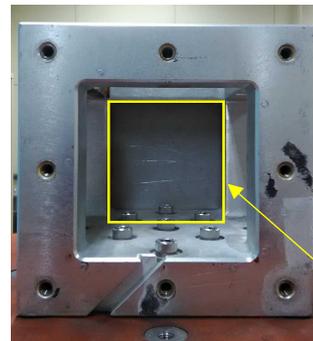
振動数範囲 DC~2000Hz
立方体治具ネジ：5x8-M8 深10

電子部品などの小型試験品は立方体治具に
■固定のための板治具を御社で用意願います
(T10以上のアルミなど。十分な板厚がないと、
板治具自体が振動する可能性あり)

■制御用の加速度センサをP点に取り付けますので、
ハーネスなどに干渉しないように留意願います

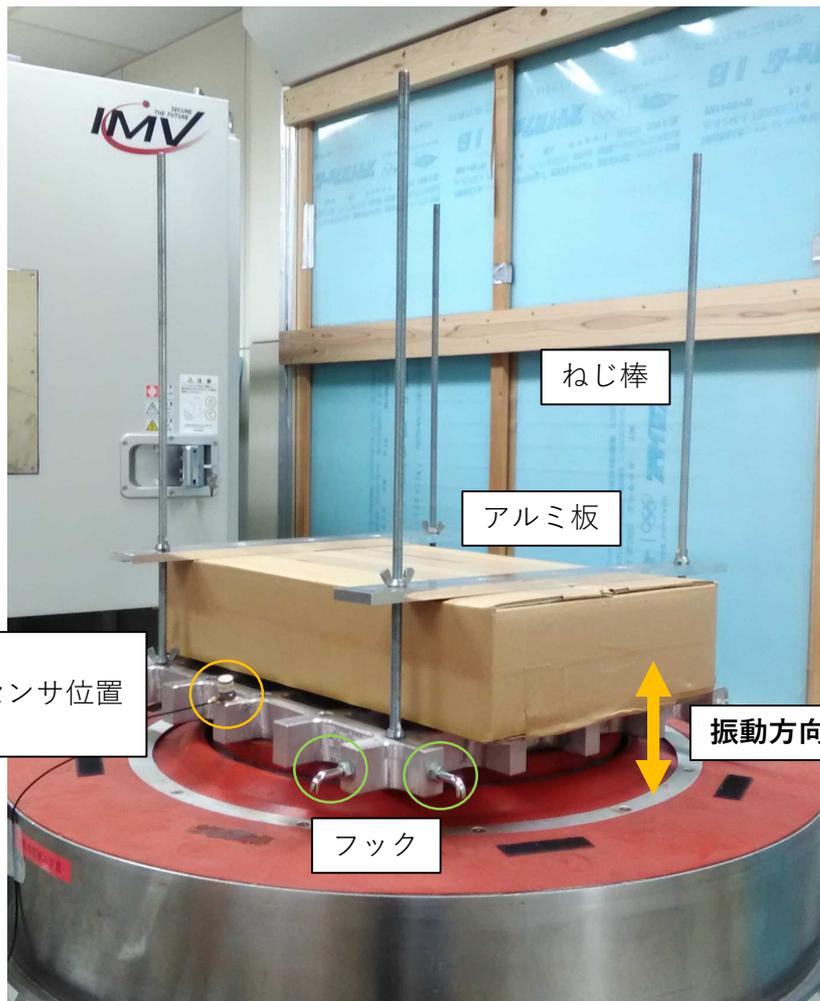


底に接する部分は隙間をあけた方が良い
(ツラで作製すると穴位置が合わないことがある)

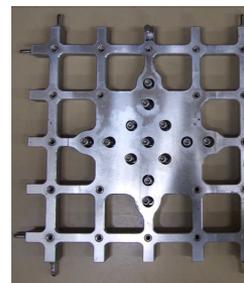


板治具の裏に試験品がはみ出る場合は
立方体治具の切り抜き箇所に合わせて

500mmテーブルと800mmテーブルの2種類あり

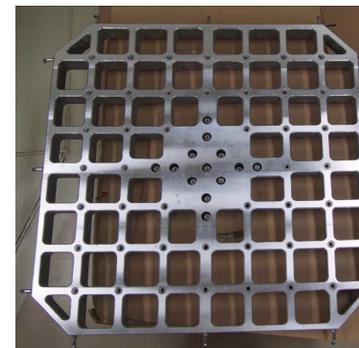


500mmテーブル



振動数範囲 DC~500Hz
平板(小)ネジ：20-M10 深20

800mmテーブル



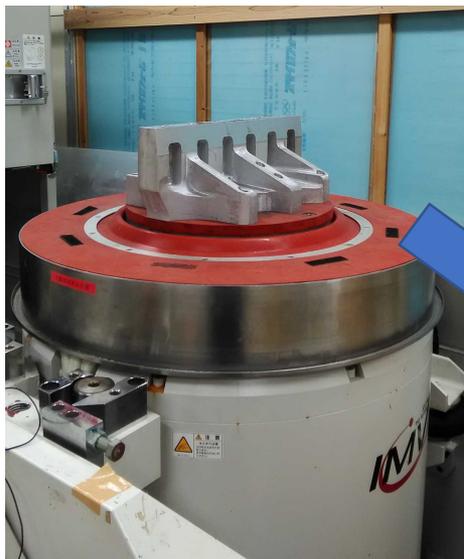
振動数範囲 DC~350Hz
平板(大)ネジ：44-M10 深20

図面上の取付タップを利用する以外に

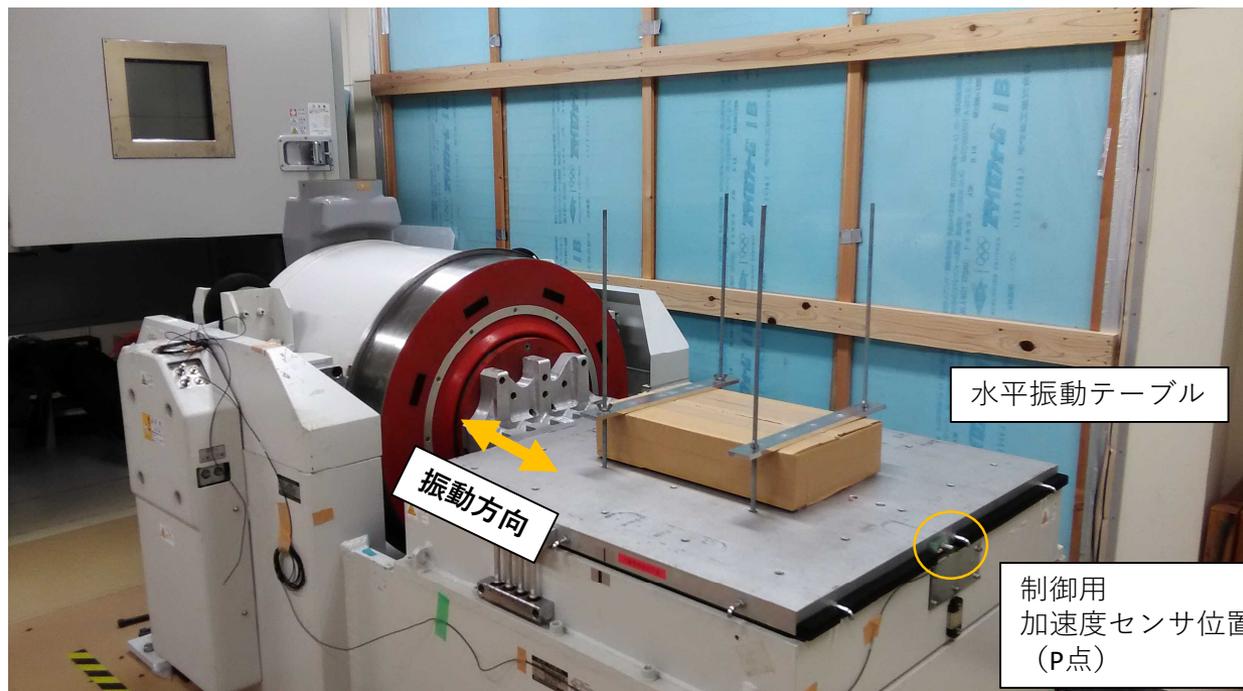
- ・アルミ板とねじ棒での固定
- ・フックを利用したPPバンド、ラッシングベルトでの固定

などが可能

※図面中のP点には制御用加速度センサを取り付けるため、試験品と干渉しないように注意



水平振動用治具を取り付け、回転させることで
水平振動テーブルに接続可能



水平振動テーブル上の試験品の取付方法は
垂直振動テーブルと同様



ハーネス取り出し口

立方体治具、垂直振動テーブルは恒温槽内に取り付け可能
水平振動テーブルは恒温槽内への取付不可

別途添付の治具図面や装置仕様もご参照ください

不明点、各種お問い合わせは
QSKN@aitc.pref.akita.jpまで